

■ 装置や器具の準備

- ① 採血用器具等を用意してください。
- ② 専用テストストリップを用意してください。
- ③ テストストリップの箱に入っているコードチップを本体に差し込んでください。

装置や器具の準備に関する注意事項

- ①の「採血用器具等」は、施設で準備してください。
必要な物品の例：採血用器具・ヘパリン入り真空採血管・
カーディアックシリンジ、または150 μ Lを定量可能なピペット。
- テストストリップは**使用直前**にアルミパックから出してください。



■ 検体の準備



- ① ヘパリン添加静脈全血を使用してください。



- ② ①の検体のうち150 μ Lを、カーディアックシリンジ、または150 μ Lを定量可能なピペットに採取します。

検体の準備に関する注意事項

- 検体は、**ヘパリン添加の静脈全血**（ヘパリン採血管に採血した検体）**150 μ L**を使用してください。
- カーディアックシリンジは、150 μ Lを定量するための“針付ピペット”です。**採血には使用しないでください。**

測定結果表示

項目名(定量測定範囲)	画面表示	測定結果
NT-proBNP(60~9,000pg/mL)	<60pg/mL	60pg/mL未満
	xxpg/mL(実測値)	60~9,000pg/mL
	>9,000pg/mL	9,000pg/mLを超える検体
トロポニンT プラス(40~2,000ng/L)	<40ng/L	40ng/L未満
	xxng/L(実測値)	40~2,000ng/L
	>2,000ng/L	2,000ng/Lを超える検体
CK-MB(1.0~40ng/mL)	CK-MB<1.0ng/mL	1.0ng/mL未満
	xxng/mL(実測値)	1.0~40ng/mL
	CK-MB>40ng/mL	40ng/mLを超える検体
D-ダイマー(0.1~4.0 μ g/mL)	<0.10 μ g/mL	0.1 μ g/mL未満
	x.xx μ g/mL(実測値)	0.1~4.0 μ g/mL
	>4.00 μ g/mL	4.0 μ g/mLを超える検体

■ 検体の滴下



電源ボタンを押します。



「測定」ボタンを押します。



患者IDを入力します。
(ID入力設定をしている場合)



テストストリップを挿入します。



測定部分が加温されます。



5分以内に検体を滴下し、
チェックボタンを押します。

検体の滴下に関する注意事項

- 全血を滴下するときは、**ゆっくり滴下**されることを推奨します。滴下が早いと溶血する可能性があります。

■ 検体の展開



検体展開中。



展開が正常に終了すると
カウントダウンが始まります。



カウントダウン終了後、
測定結果が表示されます。

検体展開中の注意

- 検体の展開時間は、検体の状態によって異なります。例えば、ヘマトクリット値が高い検体はクロマト展開が遅くなるため、「検体展開時間」が長くなります。
- 検体を滴下した後に、再度血液を追加しないでください。
- 測定結果が表示されるまで、テストストリップに触らないでください。
- 測定中は**装置を動かさない**でください。

定性結果の表示

- トロポニンTのみ、測定途中に40ng/L以上のシグナルラインを検出した場合、時間表示の下部に「**トロポニンTを検出**」と表示されます。